

みなさまの声や思いをカタチに！

宇治市議会議員



中村まいに

議会
報告

Vol.17

自民党宇治市会議員団 総務常任委員会、議会運営委員会、広報委員会



9月定例会を終えて

9月定例会ではふれあいセンターの条例の見直しや市教委の公民館のあり方についての考えが示されたりと、市全体の公共施設について考
える時期にきています。

今、活動なさっている方々の活動がスムースに行えるようにすること、
それと合わせて、子どもや孫の世代に対し負担のない、また使いやすい
公共施設整備が必要であると考えています。

今ある公共施設の長寿命化、あるいは複合化、それに加えて他市町村
との広域化、民間活力の利活用など固定観念にとらわれることなく柔軟
な発想で取り組んでいきます。

平成30年度決算概要

- ・経常収支比率は前年度から3.1ポイント減少し、95.8%となつた。
- ・単年度収支については、9年ぶりに1億円程度の黒字に。
- ・市税収入は6億4700万円増
- ・市債は前年度から2億7500万円減少



「懸念材料」

- ・義務的経費の割合が類似団体、府内14市平均を大幅に上
回っている。
- ・市民一人当たりの投資的経費が類似団体平均より大幅に低
く、未来への投資に対し、不安を覚える。



活動のご報告



一般質問でも取り上げた駅前の男女共同参画センターと合わせてJR宇治駅が整備されます。

現況写真



改修後イメージ



JR宇治駅周辺が観光地の玄関口として整備されます。公衆トイレ、からくり時計、植栽、看板等を撤去します。

工事は令和2年1月から3月。現況と改修後のイメージ図をご覧ください。

市政報告会の様子

当選来行っている市政報告会も40回目を終えることができました。これからも各地域の方々との意見交換を大切に声を届けていきたいと思います。写真は各地の様子です。



市政報告会開催のお知らせ

- 11月24日 10時30分 名木西集会所
- 11月24日 13時30分 東宇治コミセン
- 11月26日 14時30分 車田集会所
- 11月30日 16時30分 南宇治コミセン
- 12月1日 18時 西小倉集会所



分からないこと、困っていること、相談したいこと、
私におしえてください。

あなたの声を届けていきます。

あなたの思いをカタチにしていきます。



「中村まいこ」で検索して、日頃の活動をチェックしてください。

はじめました

LINE@

右側のQRコードを利用してお友達追加してください ⇒
市政の情報発信をしています。

おしえてください



一般質問

毎回欠かさず行っている一般質問。本定例会では「京都アニメーションの放火事件をうけて」「高齢化社会を見据えて」「フードバンクの利用」「男女共同参画センター」の4項目について質問を行いました。

質問の一部を以下にご報告します。

一般質問の様子はホームページから⇒



「京都アニメーションの放火事件をうけて」

事件発生後、私ども自民党は、京都府議会議員団として7月26日に西脇知事に緊急要望を行い、8月5日には二之湯智京都府連会長を中心として首相官邸で菅内閣官房長官と面会し、寄付金などの円滑な受け入れに向けて税制上の優遇措置の検討を求める要望書を提出。自民党宇治市会議員団も、8月6日に宇治市長に対して、7項目について緊急要望を行い、その要望に対する取り組み状況を確認。



・被害者支援

答:市長より全力で支援をしていく



・アニメ文化の推進、人材育成

答:宇治市の魅力発信という意味でも「ものがたり観光」「コンテンツツーリズム」を大切に育んしていく。また、7月に設立した宇治フィルムコミッショングでは2か月で6件に対応している。

中村まいこからの提案

アニメ文化保全・推進のためには人材育成やアニメ文化推進に役立つことを目的としてふるさと納税の制度利用を提案。

観光振興計画後期アクションプランでも宇治にまつわるコンテンツを活かした観光振興の促進を掲げているとの答弁とアニメ文化に関する施策や事業について検討をするという答弁とでは観光サイドの思いと市の施策の取組みとに齟齬があるようだ。

改めて施策や事業の検討など言わず、市としても今後検討すべき。国内外を問わず今回の事件が与えた影響は非常に多大なもの。前向きな検討を求める。

「高齢化社会を見据えて」

高齢化社会を見据える中で、安心安全なまちの創造に力を尽くしていくべきとして「防犯カメラ」「防災」「高齢者の移動」の観点から質問。

「高齢化社会を見据えて」つづき



・防犯カメラの設置

防犯カメラ付き自販機の増台、自治会の実情に合わせて補助金の適用をドライブレコーダーなどにも応用を



・休憩空間の必要性

今後高齢化社会を見据える中で休憩空間を適正整備することが必要ではないか。国交省は道路のユニバーサルデザインを目指して「道路の移動等円滑化整備ガイドライン」を示し、その中でも休憩施設について規定がなされているので、休憩空間の必要性を訴える。

「フードバンクとの協働」



自治体との協働の観点から八幡市では準要保護世帯に就学援助決定通知書を渡す際フードバンクの申込書を配布し、情報提供を行う取り組みをしているが、宇治市として取り組んでもらえないか。

生活困窮世帯に対し、フードバンクの利用の協力を明言

中村まいこの思い

フードバンクを利用してよかったですなどのようなことかと聞くと、「いろんなものが食べれた」という感想が多かったとのこと。これだけ飽食の時代の中で、いろんなものが食べれたと子どもたちが言う、その背景を考えたときに、本当に心の痛む思いだった。子どもたちは環境を選ぶことができない。でも、様々な環境の中で強く今を生き抜いているわけで、私たち大人は、その子どもたちにできるだけのことをしてあげなくてはならないし、それが負の連鎖だとしたら、多面的な支援でその負の連鎖を断ち切らなければならない。このような取り組みはその一つであることから、是非推し進めていただきたいことを切にお願いする。

「男女共同参画センターについて」



観光協会と市の観光振興課が1階に入ることになり、これまでの男女共同参画センターの機能が3階に移転することになったが、それに対する中村まいこの思いは次の通り。

本当に助けを必要としたときに初めて人はその支援にたどり着く。その距離ができるだけ縮めておかなければ、たどり着くまでに力尽きてしまうこともある。多くの人に知ってもらう、ゆめりあに行けば、あなたの辛さを聞いてくれる、解決してくれる、そして、また違った人生を歩むことができる、そんな選択肢を見せてあげられることができるのではないか。是非、京都府や近隣市町とも連携をとって支援拡充に努めてほしい。